



ライオンズクラブ国際協会
333-C地区ガバナー

L. 笹本 瞭 (市川東LC)

ガバナースローガン

高めよう

愛と知性と心で奉仕

【ご挨拶】

はじめに、この一年間333-C地区のみなさまから寄せられたご支援、ご協力に感謝申し上げます。お陰さまで地区年次大会も成功裡に了ることが出来ました。

私は地区運営目標の中で地区運営の簡素化、青少年健全育成、会員増強並びに退会防止の3点を最も強調してまいりました。

従いまして、地区年次大会も大いに簡素化を取り入れ、先ず登録料の大幅値下げを決断し年次大会の準備に入りました。

L.長谷川一吉地区年次大会委員長、L大久保博1R1Zゾーン・チェアマンを始めとする委員会の

皆さんの大変な予算のやり繰りに始まり、私のわがままな数々の提案にも関わらずご理解をいただき、多大な努力の積み重ねの上、あのように立派な構成、演出の第45回年次大会が盛況に執り行われましたことに、多くの参加会員を始め関係各位に心より感謝申し上げます。

次に青少年健全育成につきましては、各クラブ色々な形で活動されており、次代を担う青少年の育成に数々のアクティビティを積極的に行われており、みなさまのご協力に対し敬服するばかりです。特に今年度は健全育成の一環といたしまして、青少年薬物乱用防止運動を実施いたしましたが、準備期間が短くPRも行き届かず大変ご迷惑をおかけいたしま

したが、地区内116全クラブのご理解によりあのよう
にグローバルな奉仕活動を展開できましたことは
それだけで意義深いことではなかったかと考えてお
ります。

統一テーマ活動の展開においては L.関口博之、
L.望月武峰、L.畝本昌介各地区委員長、地区PR
情報副委員長L.吉原稔貴をはじめ関係役員のご尽力
に敬意を表する次第です。

また、会員増強並びに退会防止を強く訴えて参り
ましたが、各クラブそれぞれ種々趣向を凝らし努力
され、熱心に取り組まれている姿に敬服するばかり
でした。一回の入会式を成田エアポートLCの12
名、夷隅LCの10名を筆頭に多くの新会員を迎えら
れ、積極的な活動をいただきながら、私の微力のな
すところ何ら防止対策も出来ず強く反省をいたして
おります。然るに年度末恒例の様に成っております
多くの退会者の防止に最後のご努力の程お願い申し
上げます。

昨年7月3日イギリス・バーミンガムに於ける第81
回国際大会に於いて飯塚一郎ガバナーから引き継ぎ、
今日まで歴代ガバナーによって築かれた大いなる遺
産の全てを継承し、この一年間を無我夢中で邁進し
て参りました。一日の病気をすることなく、私に
とっては生涯忘れることの出来ない感激であり、最
も生き甲斐を感じた一年でありました。

これも偏に、L.飯塚一郎前地区ガバナーを始め、
地区名誉顧問会、各リジョン・チェアマンを始め地
区構成員の皆様、そして地区内116クラブの多大の
ご支援、ご協力の賜と、深甚なる敬意を表する次第
です。



私事をうち捨てて私を支えてくれたL.田邊誠二
地区幹事、L.米本隆二地区会計を始め内局員、そ
して事務局員の方々の、多大なるご尽力、ご協力に
感謝するばかりです。

残された責任ある期間を完全な引き継ぎに積極的
に投じ、有終の美を結ぶことに全力で尽くすことが
ライオニズムの永遠に連なる契機であると信じてお
ります。幸いにして、次期地区ガバナー・エレクト
L.岡野正義は英邁なご人格、卓越した指導力をお
持ちのライオンです。私から言うまでもなく勤勉家
であり、行動力旺盛であります。この一年間全ての
行動を共にとられその間、特に地区運営に関しては
十分な意見の交流を図ることができ、憂いなく引き
継ぎが出来るのではないかと自負しておると共に有
り難く思っている次第です。

最後になりましたが、次期ガバナーL.岡野正義、
千葉キャビネットのご成功と各クラブ並びに333-
C地区のますますの発展をご祈念申し上げ、ご挨拶
とさせていただきます。一年間誠に有り難うござい
ました。唯々感謝いたします。



岡野次期ガバナーエレクト夫妻から花束を贈呈された笹本ガバナーご夫妻

市川内局8人衆！ チームワークで笹本ガバナーをアシスト



第45回年次大会の壇上に勢揃いした笹本ガバナーと内局員8人衆

今年度笹本ガバナーの「改革」を支えたキャビネット内局の8人衆を改めてご紹介します。

「チームワークと行動力」をモットーに、明るく和やかにそして果敢に地区を運営してくださいました。

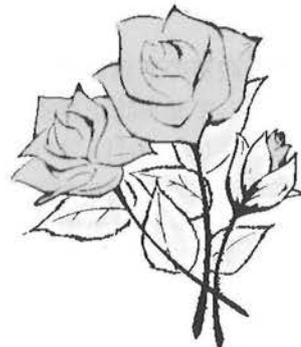
第45回年次大会大会式典で笹本ガバナーから最大級の賛辞を贈られ、壇上にてガバナーとともに各クラブ会長の登壇を迎えたり、ガバナー挨拶の時に内局員が奥様ご同伴で壇上に並んだ演出は、単なる演出ではなく一年間「同じ釜の飯を食った」仲間の絆の深さを表現したものでした。

人材育成の観点から見れば一年間「笹本イズム」に鍛えられたこの8人衆から次代のC地区を担う新しいリーダーが輩出されることは間違いありません。内局員8人衆の皆さんのこれからのますますのご活躍を祈念して止みません。

ここでは内局員を代表して地区幹事の田邊Lと地区会計の米本Lに一年間を振りかえってのご挨拶をいただきましたので全文掲載させていただきます。

今年度キャビネット内局員8人衆

- | | |
|----------------|-------------------|
| L. 田邊 誠二 (市川東) | 地区幹事 |
| L. 米本 隆二 (市川) | 地区会計 |
| L. 内田 千尋 (浦安) | 地区総務委員長 |
| L. 林 一公 (市川東) | 地区運営委員長 |
| L. 高木 正平 (市川東) | 地区企画委員長 |
| L. 石毛 剛 (市川) | 地区財務委員長 |
| L. 秋本 三男 (市川北) | 地区クラブ
財政委員長 |
| L. 藤嶋 庄平 (市川東) | 市川ガバナー
事務局事務局長 |



市川市の市花：バラ

地区キャビネットの運営に 携わった一年を振り返って



333-C地区 地区幹事
L.田邊 誠二



333-C地区ガバナーL.笹本瞭の下でCAB幹事という職責をいただき、その責任の重大さに身の引き締まる思いがしました。

早くも笹本丸が大海に帆をいっぱい張って船出し1年が経過しようとしています。その間種々多々の逆風等がありましたが、しっかり張った皆様の帆とガバナーの卓越した指導力のお陰でCABの運営も大過なくマストを下ろそうとしています。

今年度の運営方針...運営に当たっての経費の節減、また組織の簡素化、最重点政策の薬害防止運動の実施、これらを実現するに際してキャビネット構成員の皆様のご協力とご支援に、また忘れてはならない事務局員の里田さん、内藤さんの協力に本当に感謝の気持ちで一杯でございます。

今思いますと、昨年の一月にCABの執行部(内局)が発足しスタートいたしました。

5月にはCAB構成員など、またクラブ三役研修会に始まり、7月の第一回キャビネット会議、8月～11月迄、ゾーン単位でのガバナー公式訪問、その節には各ゾーンの役員の方々、そして全メンバーの皆様には大変お世話になりました。この紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

11月には第2回目のキャビネット会議...次期ガバナーの承認が可決いたしました。

ガバナーの最重点政策の運営目標にかかげた青少年健全育成の一環として薬害防止運動がCABの指導のもと単一クラブ主体で10月8日の世界ライオンズ・デーを中心に千葉県全116クラブが一丸となり実施されたこと、全クラブが参加してのアクティビティは近年なかったように記憶しております。

継続は力なりと申します。是非今後も実施されることを切に望むものであります。

1999年1月に入りますと、第45回年次大会の準備にCABの事務局側と大会委員会の数回に渡る合同会議がありました。

笹本ガバナーの今年度の集大成になる大会ですので、関係者全員一致団結し真剣に取り組み、今までの大会の概念を捨てて21世紀に向けての橋渡しとなるような年次大会ができればと願いました。

先輩の築き上げた年次大会の歴史を土台とし、今年の大会が無事終了したこと長谷川大会委員長はじめ大会役員の方々の献身的なご協力に感謝いたしたいと思います。

CAB行事に関しては、第4回キャビネット会議の資料をご覧されれば地区行事報告が載っていますのでご参照戴ければ幸いです。

ライオンズクラブは奉仕団体でありその役割は全世界でも認められたボランティア団体であることも忘れてはならないと思います。



10/8地区統一テーマ活動パンフ

その中の組織にアイヘルス委員会がありますが、献眼活動に重点を置き広く一般にも求めています。

しかし今年におきましてはライオンズの献眼者が一人もいなかったこと、我々執行部の努力不足であったと反省しております。しかしこれはライオンズにとって多くの問題点を残す結果となったのではないかと推察します。

このことを十二分に認識し今後の活動に配慮されることを望みます。

終わりになりますが、ライオンズクラブの発展のためにできる限りの協力を惜しむものではありません。私の好きな言葉を記してこの文を締め括りたいと思います。

質実剛健勇往邁進



外部向けLC・PRパンフ

御礼の言葉



333-C地区
地区会計
L.米本 隆二



実質1年半の間、長いようで非常に短い期間でありました。

今年度笹本ガバナーの強い要望でガバナー公式訪問の簡素化を旨とし、メンバーとヒザを交えて話し合える例会を各ゾーンにお願いしたところ、大半がゾーンで開催されました。

私にとりまして初めての経験でありましたが多くのメンバーの方々との出会い、語り合い、友情があり生涯を通じ忘れ得ぬ貴重な体験となりました。

笹本ガバナーは、最重点施策に青少年健全育成をかけた、10月8日の世界ライオンズ・デーに薬物乱用防止の統一したキャンペーンを実施しましたが、予算的に限られた範囲であり、各ゾーン・チェアマンには大変ご迷惑をおかけしました。

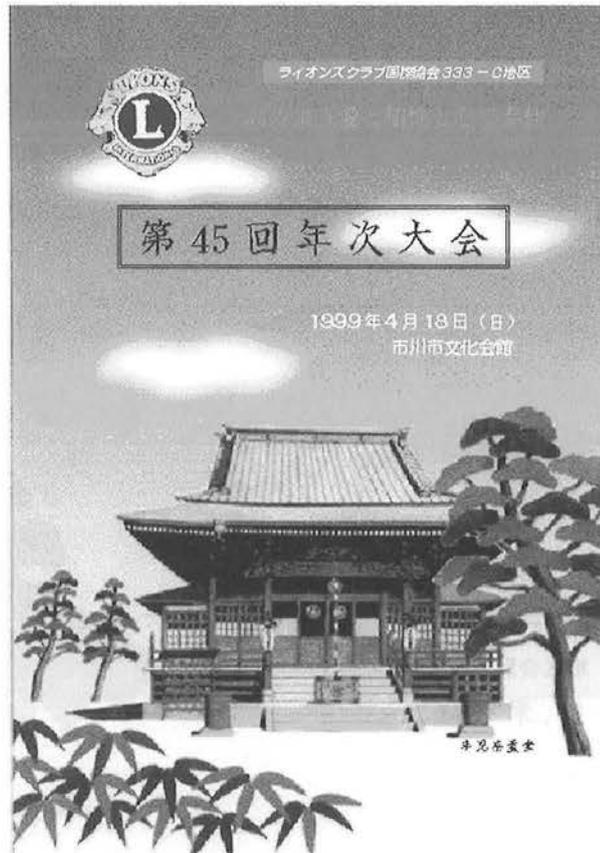
また地区年次大会においては、経済不況の折り、経費の削減に努め多くの簡素化と新しい運営を目指し、登録料の大幅な値下げ、内容の度重なるチェックなどを行い、大会役員の献身的なご支援、ご協力によりまして無事終了することが出来ました。

笹本ガバナーの卓越した指導力の元、田邊幹事を始め内局員全員が和を持って一丸となれたことに深く感動を覚えました。会計事務に当たっては、里田・内藤両事務局員には、適切な事務処理に対し心より感謝申し上げます。

最後にこの一年間、名誉顧問の絶大なるご支援とご協力を賜りましたことに厚く御礼を申し上げ挨拶とさせていただきます。

特集

「第45回年次大会」



第45回年次大会記念誌表紙

今年の年次大会はお手伝いして参加して「来てよかった」と思える出来映えでした。その最も優れていた点はプログラム全体が参加者の視点からプロデュースされていたことではないでしょうか。ガバナーを徹底的に盛り立てる演出は見ている側に意外なほど「気持ちよく」受け入れられたと思います。

4千数百の会員のリーダーとして努力された現職への賞賛と次期への期待感がはっきりと示され、これからの年次大会の進むべき方向性がはっきりと示されていたと思います。来年以降の年次大会委員会がさらに工夫に工夫を重ねられて、さらに参加者が満足できる大会づくりに挑戦していただければ幸いです。

第45回地区年次大会を体験して

次期地区ガバナーエレクト L.岡野 正義



次期地区ガバナーエレクト挨拶で所信を述べる岡野エレクト

今回の年次大会は私自身が次期ガバナーエレクトに選出していただいた場でもあり、私にとっては大変印象深い物であったのは当然であります、その点を差し引いてもなお深い感銘を受けた年次大会だったと思います。

斬新という言葉がぴったりの大会だったと思います。他の方々も指摘されることと思いますが、私が特に感銘を受けた点を幾つか挙げてみますと、

- (1) クラブ会長を主役として壇上に乗せられたこと
- (2) 大会を新人研修の場として活用されたこと
- (3) ビジュアルに徹し、地元やガバナーの紹介を分かりやすくスマートに行われたこと
- (4) スピーディーで飽きさせないよう工夫され、ガバナー登場も会場の機能を活かし、意表をついた演出とされたこと
- (5) 胸かけ参加バッジの販売や、お土産付きとする無駄を排除されたこと
- (6) 内局の方々の奥様方を壇上に招き、陰の功労者として労をねぎらわれたこと

でした。

私がお会いして大会について話を交わされたすべての方々が称賛しておりました。設営に当たられた方々の英智とご努力に惜しみない拍手を贈りたいと思います。

第46回年次大会は、2000年4月30日に大会を、4月29日に前夜祭を、いずれも千葉市内の幕張プリンスホテルで行います。

L.御園生隆大会委員長、L.白井一世事務局長を中心に、ホストクラブの方々のご尽力をいただいてこれから具体的な企画に入りますが、第45回大会の良いところは、地区の新しい良き伝統として出来る限り承継していきたいと思っております。

また、会場の機能の制約はありますが、出来るだけ楽しく有意義な大会となりますよう、無い知恵を絞って工夫を重ねて参りたいと考えておりますので、ご期待の程を、そして一人でも多くのご参加を賜りますよう、今からご予定に入れて置かれませうようお願いを申し上げます。



次期キャビネット三役



市川市文化会館正面



大会メイン会場・大ホール客席

御礼のご挨拶



地区年次大会委員長
L. 長谷川 一吉

第45回年次大会の準備は一昨年の8月頃に笹本副地区ガバナー（当時）から年次大会委員長就任を打診された時に始まりました。

それから年次大会の運営を担当する事務局長・事務局次長・ホストクラブ会長である副委員長からなる年次大会運営チームと、正式なキャビネット構成員ではないけれどガバナーの意向を取り入れながら大会全体のデザインと演出を担当する「年次大会プロデューサー・アシスタント」チームの2重構造の委員会を組織しました。

それから年次大会の参加者が不満を感じる要素をみんなで徹底的に検討し「満足できるお弁当」と飽きのこない演出で短時間の大会式典」が重要なポイントであるという結論に達しました。

そして大会制作の目標を「途中退出者の出ない大会づくり」として、参加者の目線に合わせたスクラップアンドビルドを繰り返し準備をすすめました。

その結果についてのご判断は大会に参加された皆さまのご判断を仰ぐしかありませんが途中退出され

た方がほんの数名だけであったことは、受付に待機していた水野事務局長と吉岡事務局次長からの報告により確認させていただきました。

皆さまに「来て良かった」と言っていただけるこそが年次大会委員会・ホストクラブにとって「やってよかった」と思える勲章であります。

ご協力いただいた各L、キャビネット事務局員のお二人、何より参加して下さったメンバー諸兄に心よりの感謝を申し上げます。

最後に私が年次大会のご挨拶の中で申し上げたことを記録として記載させていただきました。委員長の御礼の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。

記録：年次大会委員長「歓迎の挨拶」

第45回年次大会の開催にあたりまして、ご来賓として千葉県より島崎副知事はじめ、市川市の千葉市長様ならびに浦安市の松崎市長様には、公私ともご多忙のところ、ご臨席を賜りまして誠にありがとうございます。

333-C地区キャビネット構成員の皆さま並びに地区内116ライオンズクラブの皆さまには、日曜日のお休みのところ、このように約2000名の大勢の皆さまのご参会をいただきまして本当にありがとうございました。

1リジョンのホストクラブ8クラブとともに心より

歓迎申し上げます。

第45回年次大会の開催にあたりましては、笹本ガバナーのご意向をふまえて、新たな視点といたしましては『ともに学ぶ年次大会づくり』をモットーにして、次の5つのコンセプトを試みました。

1) 全体の演出関係として、VTRとスクリーンによる映像を活用し、ビジュアルな、テンポある演出を試みました。

2) 笹本ガバナーの地区運営に直接ご協力いただいたC地区116クラブの会長さん方には本日の主役として壇上にあがっていただきました。各クラブの会長さんには、クラブ発展のため、そして地区運営へのご協力にご努力いただきましたことに、心から敬意を表する次第であります。

3) 入会1年から5年未満のメンバーのオリエンテーションを行い、ライオンズムの昂揚について研修していただきました。

4) 入会1年未満の新メンバーの合同入会式を行います。この入会式はハバナナダ国際会長の提唱によりまして、ライオンズクラブ会員の自覚と信念を



誓っていただくことにあります。

5) レオ地区大会のレオのみなさまによる盲導犬支援募金活動をおこない、本日(財)日本盲導犬協会に募金を贈呈いたします。メンバーの皆さまには本日は募金にご協力いただきましてありがとうございました。

以上第45回年次大会のコンセプトを申し上げましたが、皆様方に「来て良かった」と云っていただく年次大会でありますようお願いしているしだいでございます。

終わりに本日の年次大会の準備設営をいただきました1Rホストクラブの皆さま関係各位に心から感謝申し上げまして、歓迎の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

雑感 年次大会を終わって



名誉顧問会議長
L. 浮谷 俊行

笹本ガバナーより電話を頂戴したのは、年次大会も終わってまだ間もない朝でありました。

ガバナー自身のお疲れもいまだというところなのでその労をねぎらいながら、話はやがて前夜祭であったり、本番の大会へと飛んで行きました。

これまでなかなか実現出来なかった「大会費用の削減」は、笹本ガバナーがかつて松丸キャビネットの大会で、地区会計としてそのふところを握って運営した経験があったからこそ今回のように大ナタをふるえたのではないのでしょうか。

【今大会の特徴】

1. 大会費用の大幅削減 出来た理由
 - A. 看板の手作りを挙げておられる
 - B. 貰ってもあまり嬉しくないお土産のカット
 - C. 後夜祭をカット (前夜祭の時に時期ガバナーエレクトにエールを送ることで)
2. キャビネット費用の次年度への繰り越しの減少?

以上が私の拝見した今大会の現実ですが、これが今回出来たからと言って、次期も出来るものではないと思います。

今期は、はからずも大会会場は公共施設でありましたし、次期は幕張のホテルということになれば話は違って来るでしょう。

良いことに力点を置いた次期キャビネットの運営を切にご期待いたします。

「お弁当おいしかったよ」に感謝



地区年次大会事務局長
L. 水野 清

年次大会を無事終えることができ、正直なところホッとしています。

1RのふたつのZは市川市と浦安市の市境ではなく江戸川を境にして北と南に分かれており、歴史と伝統を重んじる1Zと若さと活力と行動力の2ZというようにZごとの性格もはっきりしています。私は前年度RCということから年次大会事務局長というより1Zと2Zのインターフェイスということで任命されたと理解しています。

今回の年次大会を一言でいえば「改革」だと思っています。「改革」というのは外から見ていてもリスクあり批判ありでいろいろと大変なのですが、今回の年次大会委員会のメンバーとして多くの改革の過程を内側から見ることができました。実に激しくまた細目に渡って議論をかわした一年でした。

第45回大会は大会後多くの皆さまからお褒めの言葉をいただきました。「良い結果」の陰にはLCのジェントルマンシップに基づいた本当に多くの議論、討論、激論があったわけで、その過程にこそ意義があるわけです。ですから「改革」のきっかけや動機、過程を含めて「結果」を記録し、後世に伝えないとその意図が伝わらないのではないのでしょうか。

改革論はさておき、今回の大会委員会では「大会演出」と「お弁当」が同等に重要な要素だと考えておりましたので、2Zが担当した「お弁当」に対して「今回のお弁当はおいしかったよ」という声が多数寄せられたことが私にとって一番うれしく、準備に特にご尽力いただいた浦安シーサイドLCの長谷川中Lをはじめご協力いただいた2Zメンバー諸兄に心より感謝申し上げたいと思います。

第45回年次大会を振り返って



地区年次大会事務局次長
L. 吉岡 秀雄

お陰様で年次大会関係者を始め、ホストクラブのメンバーの皆さんの協力により無事終了することが出来、この場を借りて改めてお礼申し上げます。

振り返りますと、昨年3月頃より準備打ち合わせ会議が開かれ、今回のガバナー方針によれば、経費の節減、運営の簡素化、登録料を極力抑え、各部科会への内容の充実、いまだかつてない全クラブ会長の登壇、新入会員へのオリエンテーション、新入会員の入会式、式典は流れる演出映像、前夜祭は意義をより高める短時間の講演を併設し、懇親会で語り合いの場を設けドイツ料理生ビール、ワイン生バンドで更なる友情を深めたいとの要望があり、年次大会委員長としては、登録料は軽減、中身は濃く、委員会としては予算案の作成に当たっては、打ち合わせ会議の度議論白熱いたしましたでしたが、最後はライオンズ精神でお陰様特別何の問題もなく終わることが出来ました。

年次大会委員会の皆様ありがとうございます。最後に次期年次大会の成功を祈念いたします。



年次大会をプロデュースして

第45回年次大会プロデューサー
1 R 1 Z・Z C 下総中山 L C
L 大久保 博



黒子は実は私です

まずはじめに笹本瞭ガバナーと長谷川一吉年次大会委員長の勇気ある決断に敬意を表したい。

これまで既成事実化していた大会の常識を根底から洗い直して、新しいコンセプトをかかげた斬新な企画に対して、図らずも両LからGOサインをいただいたからだ。

コンセプトには同意を得たものの、詳細部分については私の目指す企画の半分かくらいしか認められなかったが....。

今回の年次大会のコンセプトは

1. クラブ会長が主役
2. ビジュアル大会とする
3. 予算の使い方を見直す
4. 人を適材適所に活用する
5. 全プログラムにアイデンティティを持たせテンポよいワンユニットの構成とする

などだ。

大会の企画以外にも登録料を4,000円としたりオリエンテーションを開催したり、これまでの慣例にとらわれない企画もあったが、私の守備範囲外であるので他のLに委ねたい。

企画の第1段階で最も注意したことは「前例踏襲主義」から抜け出すことだ。

前例を考慮してはこれまでとまったく違った発想で企画できない。

企画力に行き詰まるとどうしても前年度比較で安易に判断しがちだが、実はこの考え方が一番愚策となってしまう。

キャビネットに限らず単位クラブにおいても「改革を進める」と言うことは、毎年変わる歴代執行部

のやってきたことを否定することになる。

ガバナーも恐らく元ガバナーへの気遣いが大変であったのではないかと思う。

そんな環境の中で、コンセプトに沿った具体的な演出を思い起こしてみると、

「1. クラブ会長が主役」については会長の入場行進と舞台上に着席することを企画した。

「2. ビジュアル大会とする」には市川市の紹介と1Rの活動状況のビデオ作成や大会当日の映像機器及びオペレーターの費用が必要になる。

「3. 予算の使い方を見直す」につながる。

廃止したアイテムにラッキーカード、郷土のお土産、参加リボンなどがあるが、このほかにも予算の使い方は大幅な刷新をした。

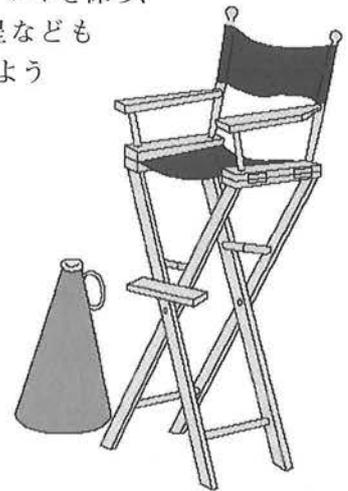
「4. 人を適材適所に活用する」ということは、C A B役員だから責任ある仕事をしてもらうということではなく、平会員でも専門的なノウハウを持っている人なら年次大会オンリーで重要な仕事を願いとすることだ。

「5. 全プログラムにアイデンティティを持たせテンポよいワンユニットの構成」とすることは、アトラクションの廃止や来賓の紹介、ご挨拶を極力減らすことで年次大会の本質に絞り込み、同じ2時間でもそれを感じさせないテンポを保ち、

さらにアワードの贈呈などもアップテンポで進めるようにすることだ。

これらすべての企画の原点は「一會員の立場」で客席で座っている目で考えること。

しかし、終わってみて自己評価してみると50点程度の採点だろうか。



ライオンズクラブには優秀な會員がたくさん埋められているので、次年度以降も新たな発想で楽しい、参加してみたい年次大会が行われれば、凋落気味のライオンズ人気に歯止めがかかるものと確信している。

最後にこの大会の企画に何かとご助言を下さり、新旧の衝突部分で防波堤になっていただいた市川L CのL・吉原稔貴にSpecial Thanksをおくりたい。

「年次大会のご案内」が狙った効果

PR情報副委員長・年次大会アシスタント

L. 吉原 稔貴

地区年次大会委員会から依頼を受けて地区PR情報委員会が制作し1月中旬に各クラブにお送りした「年次大会のご案内」は各方面から強い反発を頂戴してしまいました。あまりの反発にさすがの笹本ガバナーもビックリ！

制作した本人は確信犯なので当然と思っていたが、年次大会委員会の方々には相当なプレッシャーがかかったはずだ。「確信犯」の仕掛け人にとってみれば反発は覚悟の上で「年次大会に参加したくないメンバー」「年次大会には参加するが面白くないので途中で帰るメンバー」の注意をひき、同時に年次大会委員会には相当の覚悟をしていただくための仕掛けを試みたのだった。

この確信犯には「案内」を制作した昨年12月の時点で確信するだけの裏付けがあった。

今回、長谷川一吉年次大会委員長の働きかけで地区役員としての地区年次大会役員の他に大会プロデューサーに1R-1ZのZC大久保博L、アシスタントとして私「確信犯」が委員会に参加していた。

大久保Lと「確信犯」は「裏年次大会委員会」を昨年8月から何度も何度も開いて基本コンセプト、演出の基本方針、プログラム内容についてガバナーのご意向を踏まえながら話し合い「これまでにない素晴らしい大会がプロデュースできるはず」との結論に達していた。

「裏委員会」がプロデュースの参考にしたのは浮谷ガバナーの松戸大会と17年前の市川キャビネット市川大会だった。

松戸大会は大会式典を2時間以内にまとめ、「プロの技」を感じさせる無駄のない流れる演出だった。

一方今日のC地区年次大会の原形ともいえる第28回大会を演出したのが市川キャビネットで大会の所要時間はやはり2時間。ガバナーと地区幹事が司会進行という非常にユニークなモノだったが、演出に意志と流れが感じられ、完璧なシナリオと十分なりハーサルにより「いい感じ」だった。



第45回年次大会案内

こうした基礎のもとにつくったあの大会案内は、確かにこれまで年次大会を担当された各キャビネット役員の方々には不快なものであったかもしれないが、登録数の大小はとにかく「途中で帰る」参加者が多かったことは間違いがない。

だから大会前に話題性(?)ある問いかけを行い、地区役員やこれまでの大会関係者ではなく一般の会員に年次大会への興味を喚起するためにそのような案内を制作した。

もし案内に対する反発から大会に登録参加されなかった方が一人でもおられたとしたら、これは本当に申し訳なく思うし、心よりお詫びしたいと思う。

しかし、年次大会に参加くださったみなさんにはぜひとももう一度思い起こしてお考えいただきたい。あの案内が「ただのはったり」や「けんかをふっかけた」だけのものだったかどうかを....

第45回年次大会でのスクラップ・アンド・ビルド

今回の大会を演出するに当たって検討した内容を記録としてまとめておく。これらの結果として参加登録料を大幅に抑えたにもかかわらず年次大会の収支はほぼトントンだった。

1. 登録料の引き下げ

- *メンバー：7000 → 4000円
- *L S：4000 → 2500円
- *前夜祭：13000 → 10000円



2. 削除したり方法を検討し直した点

- *大会記念リボン販売の廃止
- *登録時配布物の大幅簡略化とお土産品の廃止
- *黙祷時のナレーション廃止
- *ラッキーカードの廃止
- *前夜祭2次会を廃止
- *後夜祭を廃止し、前夜祭の後に次期ガバナーを囲む会を開催
- *会場の看板類は最小限に簡素に



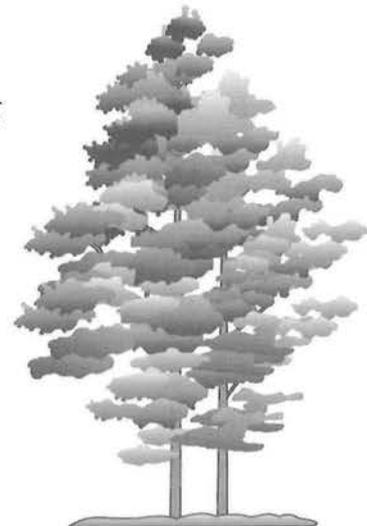
3. 工夫を凝らした点

- *大会式典の所要時間を1時間40分に設定
- *一つ一つのプログラムが決して10分を越えないように配慮し観客席の参加者の気持ちを大切に演出を心がけた
- *昼食のお弁当が重要なポイントと考え4ヶ月前から試食会を開き、万全を期した。
- *式典の流れを良くするために前日リハーサルを徹底的に実施
- *大会のはじめにアトラクション「手児奈太鼓」導入
- *舞台奈落からのせりあがりによるガバナーの登場
- *ガバナーと苦楽をともにした内局員にスポットをあてた演出
- *短時間で全クラブ会長の入場・登壇
- *ポップス音楽中心のBGM
- *黙祷BGMにさわやかなダイアナ英国元皇太子妃追悼歌使用
- *次期ガバナーエレクトの入場を早めに行う
- *来賓挨拶を最小限に
- *会長の登壇により短時間でのアワード贈呈実現
- *前夜祭では会員の語りの邪魔にならないアトラクションとして音楽パブ形式導入



4. 新しい試み

- *地区合同オリエンテーション開催
- *レオによる盲導犬育成募金実施
- *東京LCに倣い黙祷前にガバナー夫妻による献花式
- *ガバナー出身地紹介ビデオ上映
ならびにビデオによるガバナーからのメッセージ
- *地区合同入会式
- *前夜祭での講演会併催
- *時系列に合わせた記念誌の編集



年次大会プログラム

司会
アナウンサー

地区総務委員長 L.内田千尋
齊藤智子

13:30	開 会	手児奈太鼓の演奏	
13:39	ガバナー登場		L. 笹本夫妻
13:41	内局員入場		内 局 員
13:42	クラブ会長入場行進		全クラブ会長
13:52	全員着席		
13:52	司会自己紹介		
13:53	開会宣言		L. 笹本 瞭
13:53	開会のゴング		
13:54	国旗に敬礼		全 員
13:54	国歌斉唱		全 員
13:56	献 花		L. 笹本夫妻
13:57	黙 禱		全 員
13:58	ライオンズヒム斉唱		全 員
14:01	来賓紹介		
14:02	ライオンズ関係役員紹介		
14:04	参加クラブ紹介		
14:06	歓迎の挨拶		L. 長谷川一吉
14:09	ガバナー出身地紹介 V T R 上映		
14:18	ガバナー挨拶		L. 笹本 瞭
14:19	内局員家族に記念品贈呈		L. 笹本 瞭
14:22	報 告		
14:24	次期 C A B 三役入場		
14:29	次期 C A B 三役紹介		
14:30	ガバナーエレクト紹介		L. 桑田 昭
14:33	ガバナーエレクト挨拶 (次期アクティビティスローガン発表)		L. 岡野正義
14:36	副地区ガバナーエレクト紹介		L. 笹本 瞭
14:38	入会式		
14:44	ご来賓挨拶 1		千葉県知事
14:47	ご来賓挨拶 2		市川市長
14:50	ご来賓挨拶 3		浦安市長
14:53	祝電披露		
14:55	カンボジアより表彰状贈呈		L. 笹本 瞭
14:58	盲導犬支援募金贈呈		レオクラブ
15:00	アワード贈呈		L. 笹本 瞭
15:10	ガバナーズキー伝達 (令夫人には花束贈呈)		L. 笹本夫妻
15:12	次期年次大会開催地発表		L. 水野 清
15:13	次期年次大会委員長予定者挨拶		
15:16	閉会宣言・閉会のゴング		L. 笹本 瞭
15:17	またあう日まで		全 員
15:19	終 了		

レオの盲導犬募金

レオクラブによる盲導犬育成募金

今回の年次大会では、大会当日参加したLC会員を対象にレオ会員が盲導犬育成募金の呼びかけを行った。レオクラブの会員が自ら作った募金箱を持って大会会場内をまわったわけであるが、ちょうど昼食時間帯で参加者の移動が激しく、はじめは思ったほど募金が集まらなかったようだ。途中から財団法人日本盲導犬協会の若月氏と盲導犬ユーザーの方が応援にかけつけてくださり、盲導犬を含めて一列に並び声をそろえ呼びかけるようになってから募金が入り始めた。

その結果わずか30分間で20万円近い金額になった。集められた募金は大会式典の中でレオ地区副会長から笹本ガバナーを通じて財団法人日本盲導犬協会に贈呈された。

これまでもレオ地区大会は年次大会当日同じ場所で開催されてきたが、一般の大会参加Lにとっては



盲導犬育成募金の実施風景

レオ会員たちと顔を合わせる機会はほとんどなかったはずだ。ライオンズクラブの中心事業である視覚障害者支援の一環としての「盲導犬育成募金」を通じてLCとレオそれぞれの会員にとって意義深いイベントとなったといえるだろう。

オリエンテーション・入会式

入会5年未満の会員を対象とした

地区合同オリエンテーション開催 今年度入会者を対象とした地区合同入会式実施

現在でも多くのクラブで「新入会員を対象としたオリエンテーション」と「クラブ内でのリーダーシップ養成のための指導力育成会議」が混同されているはずだ。

生涯学習の場としてのLCを考えると指導力育成は入会から会員が退会するか国際会長になるまで続けるべきで、月日を経ただけの会員はもちろん、会長を終わったら終わるものでもない。だから「入会后3年以内の会員を対象とした指導力育成会議」という表現はまったくおかしいわけで、ましてオリエンテーションと混同したのでは元も子もない。

入会招請・スポンサーといった制度に支えられているLCはこれまで新入会員教育の責任をスポンサー任せにしてきた。その結果、十分な理解を得られないまま1年以内で退会する「早期退会者」が増



オリエンテーション講師は江畑耕作L

加しているといえる。

最近ではリジョン単位でオリエンテーションを開くようガバナーが指導する年度も増えてきた。しかし、かつてそうであったように新入会員にとって最も印象に残る行事の一つが年次大会である。年次大会に一度も参加しないで退会したのではもったいない。

そこで笹本ガバナーは地区大会当日午前の代議員会の時間帯に入会5年以内の会員を対象としたオリエンテーションを開催し、今年度入会者に関しては大会式典の中で全員を登壇させ、ライオンズの誓いを宣誓した後、笹本ガバナーから記念バッジを胸につけてもらう「地区合同入会式」を行った。

この試みは新入会員の定着のために非常に有効であると思われるので今後の大会でもぜひとも続けてほしい。



合同入会式: 笹本ガバナーから記念のバッジを贈呈された新入会員

オリエンテーションの内容

ライオンズクラブの歴史

L. 江畑耕作

1) 1916年：アメリカ合衆国シカゴで芽生えた。
メルビン・ジョーンズグループの「この利己的なグループの力を非利己的な奉仕に向けることは出来ないだろうか」→善意の発想

2) 1917年6月：第1回会合
ジョーンズの発想に賛成する米国各地の団体の代表20人がシカゴに集合→ジョーンズは勇氣、貞節、生活力と強さを持つライオンの名を提案し、仮称ライオンズクラブとして発足した。

3) 1917年10月：ダラス会議
1918年8月：セントルイス会議
両会議を経てライオンズクラブ協会の正式名称とライオニズムに基づくクラブ組織が採択された。

4) 1920年：カナダ、ウィンザー市に米国外第1号L.C.誕生
L.C. International (国際協会) と改名された。

5) 1925年：オハイオ州セダーポイントの第9回国際大会でのヘレン・ケラー女史の講演により、L.C. 国



1998~1999

第45回年次大会
新入会員オリエンテーション

1999年4月18日(日) 10:35 ~ 12:00
(於: 市川市 市川市文化会館 大会議室 01)



We Serve

高めよう 愛と知性と 心で奉仕

司会進行 上村 耕
(地区運営特別委員)

- 1. 司会の辞 地区運営特別委員 上村 耕
- 1. 講 辞 地区名誉顧問 上江畑 耕作
- 1. 司会の辞 98-98協議委員・L. 平川 金次
91-91委員

際協会は盲人福祉に奉仕することを宣言した。これが現在の視力ファースト・キャンペーンにつながっ

ている。

6) 1926年：世界で初めて白人以外のライオンズメンバーが誕生した。彼こそ、千葉県夷隅郡上野村出身のハワイ在住の黒川直也である。彼はLCの太平洋の架け橋として人的交流に貢献した今日のYEアクトの先駆者でもある。
同年10月1日天津にアジア第1号のLCが結成された。

7) 1941年：メルビン・ジョーンズはヒットラードイッ大統領に平和を訴える電報を送ったが、第二次世界大戦が起これ、LCの国際的な発展と活動は一時中断した。



8) 1950年：会員40万人達成を記念してメルビン・ジョーンズは終生総幹事長の称号を受けた。1953年シカゴ市ミシガン通りに国際本部を設立した。1972年に国際本部はイリノイ州オークブロックに移転して現在に至っている。

9) 以後共産国を除く全世界に進展した。この間(1) LC国際協会の目的 (2) ライオンズ道徳綱領が採択された。同時にライオンズのマーク及びカラーが制定された。

10) 1952年：日本にライオンズクラブ誕生
マニラクラブをスポンサーとして日本第1号の東京LC誕生。

11) 1961年：青少年交換学生(YE)プログラム成立
この年創始者メルビン・ジョーンズ82歳の生涯を閉ず。

12) 1968年：LCIF(ライオンズクラブ・インターナショナル・ファウンデーション) 設立

13) 1987年：第70回国際大会(台北)に於いて正式に女性会員が認められた。

14) 1990年：セントルイス国際協会でLCIF活動として「視力ファースト」が採択された。この最初の提案者は、国際第一副会長在任中(1989年9月)急逝した小川清司ライオン(東京渋谷LC)である。

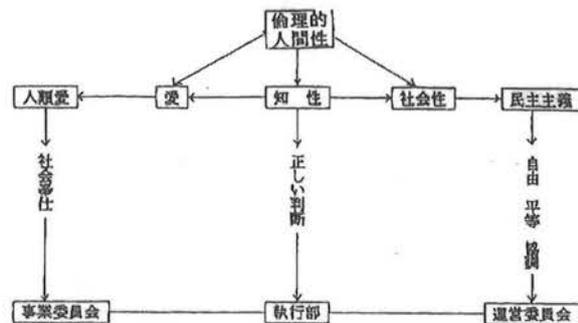
15) 1991年：キャンペーン視力ファースト(CSF)を開始
1994年7月までに1億4千600万ドルの募金が達成した。

16) 1998年12月31日現在のクラブ及びメンバー数
世界 182ヶ国 44,317クラブ 1,414,275名
日本 32地区 3,294クラブ 158,816名(330~337迄の複合地区)
333-C地区 10リジョン
22ゾーン 116クラブ 4,321名

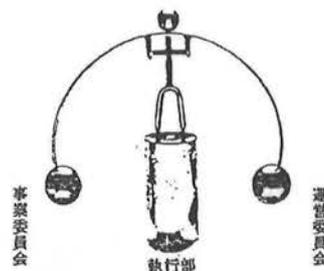
17) 国際協会選管 国際会長 第一、二、副会長
前国際会長 国際理事 31名

18) 国際本部 事務総長1名 幹事兼会計職1名の下に各国籍の400名の事務局員が勤務している。

ライオニズムの原点



ライオンズクラブの正しい姿



ライオンズクラブの魅力

- 1 人間性が高められる
- 2 社会人として幅広い生活が得られる
- 3 精神と生活の安定が得られる
- 4 国際感覚が養われる
- 5 健康によい(老人性脳病、老人性痴呆の予防)
- 6 菩薩の情を得る

黒川直也ライオンの略歴

○明治23年(1890)千葉県夷隅郡上野村法花(現勝浦市法花)に出生、4歳の時に法花竜蔵寺の修行僧となる。

○14歳の時ハワイ在住の日経宣教師奥村滝栄から送られた小冊子「新生活運動」を読み、「自己の修行より今苦しんでいる人のために奉仕することこそ価値ある修行」と悟り、ハワイに渡航して重労働をしながらボランティア活動、英語、聖書の勉学に励んだ。

○大正7年(1918)27才のとき、奨学生として米国ペンシルバニア州デキソソン大学に学び、歴史学などの研究のかたわら、YMCA(キリスト教青年会)幹事、ボランティアクラブ会長などとして活躍し弁論大会2年連続優勝。

○大正11年(1922)ハワイに帰り、スアヌYMCA幹事、パン・パシフィックユニオン書記となり、人種を問わず本土へ留学させる機会を与えた。

○大正14年(1925)35才の時結婚、凡太平洋連合協会会長となり、日本、中国、フィリピンを巡り組織の拡大に努める。

○大正15年(1926)ホノルルにライオンズクラブが設立されるに際し、太平洋岸(カナダからメキシコまで)諸州はもとよりメルビンジョーンズに対し、ライオンズクラブ会則中の「白人条項」の削除を訴え、満場一致で可決され、自ら白人外第1号のライオンになった。

○その後ホノルル、アドバタイザー紙の記者、ハワイ国家産業開発局員となり、約6年間国際親善を目的に多くの若者を東洋とアメリカの間で交換した。

○昭和10年(1935)45才の時平和奨学委員会の委嘱により、家族と共に来日し、同志社大学講師となる。

○昭和16年(1941)京都同志社大学内にハワイ寮を完成、初代寮長とし

て各国留学生の世話などに当たる。

○同年12月太平洋戦争勃発と共に、反戦主義者、親米人として軟禁抑留されて妻子とも離別した。

○昭和26年(1951)ハワイに帰り米国市民となり帰化促進会長となるも、ライオンズメンバーとしての奉仕活動にも従事した。

○昭和32年(1957)67才の時ライオンズクラブ国際終身名誉会員並びにハワイホノルルクラブ終身会員となる。

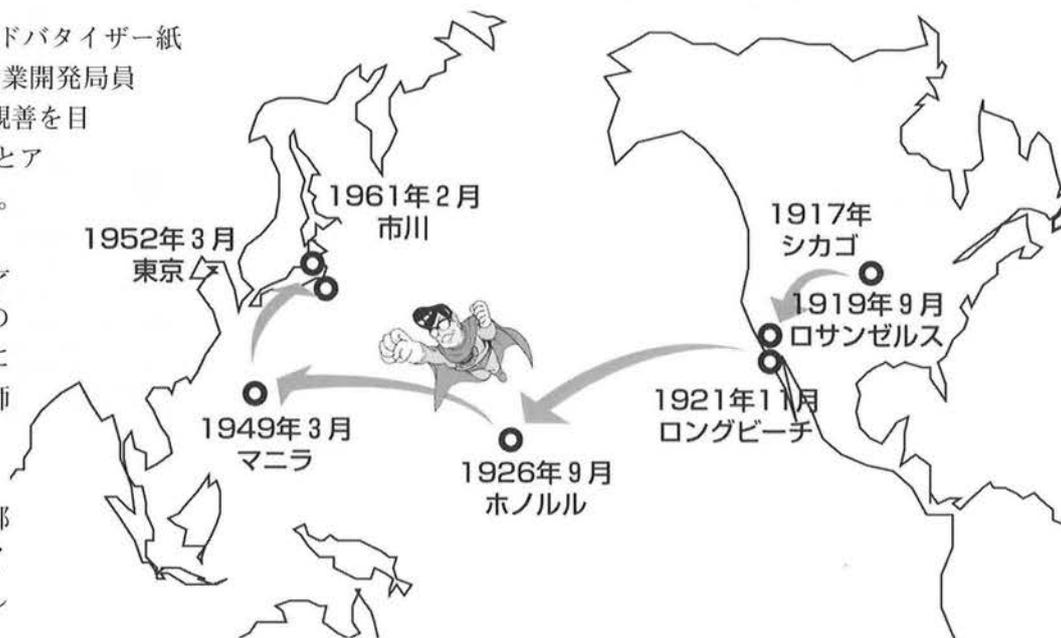
○昭和33年(1958)再び来日し、京都国際宗教同志会幹事となり京都で世界大会を開催した。

○以来米国各地で物質文明の行き詰まりとその打開を提唱する講演や各宗教家との懇談を続けた。

○昭和41年(1966)ハワイ州知事より褒章、ハワイ大学に特別講座が設置された。

○昭和48年(1973)母校デキソソン大学創立200年祭に招聘講演の後各地を表敬訪問、日米両国の親善と協調を訴える。ホノルルライオンズクラブの歓迎会では45年間の奉仕の楯と数々の賞状記念品を受ける。

○昭和53年7月9日死去。享年87才。



1999年4月17日
於：市川グランドホテル



前夜祭 舞台裏の大騒ぎ!?

今年の前夜祭は巨人軍V9戦士の土井正三氏の講演会・音楽パブ形式生ビール飲み放題・ビールの国ドイツのお料理という企画で4月17日、市川グランドホテルにおいて開催された。

スポーツ選手の講演会と音楽パブのピアホール歌劇団の合唱・生ビールの3つは予想通りの手応えであったが、ドイツ料理というのが問題を引き起こした。ドイツ料理は一般のホテル料理より割高で、通常なら十分な予算を振り分けたにもかかわらず、用意したお料理が10分ほどでなくなってしまい大騒ぎ!

急遽料理を追加したものの300人分の調理には時間がかかり、参加された方々には申し訳ないことになってしまった。事前の打ち合わせは10回を超えており、万全を期したつもりのはずだった。しかし後から考えてみると、この事態の原因が実はプログラムの時間設定にあったように思える。

今回は講演会があったため乾杯のタイミングがいつもより1時間遅くなった。だからみなさんのお腹は予想をはるかに上回って空いてしまった。さらに

バイキングスタイルで一人が取る料理量が多くなってしまった。また、前夜祭当日は雨の前の湿度上昇で蒸し暑く、のども渴いた。土井氏の講演会も肝心の巨人が絶不調で勢いが無い。その結果不快指数80パーセントに達していただろう。(残りの20パーセントはアンチ巨人のみなさんの分?)



ライオン歌劇団は絶品だった

「それじゃあ仕方ないからせめて飯でも食おうか」・・・「あれえ!飯がもう無い!!」・・・「そんなあ!」・・・となってしまった。

「前夜祭のお料理足りない事件」は翌日の本大会式典の成功のおかげですっかり薄められ、結局あまり問題にはならず担当クラブ担当者たちは救われたが、今後の前夜祭のあり方に一石を投じたように思う。

それは楽しいイベント、意義あるプラスアルファ、自由な語らいの時、美味しいお料理、そして時勢にあった登録料設定といった条件をすべて満たすのは非常に難しいということ。今回の前夜祭はこれまでになく盛りだくさんの内容にした結果、お料理以外のコストがかかりすぎ、参加者に最も実感のあるお料理が手薄になってしまったようだ。



土井氏は同じテーブルにいても気付かないほど周囲に溶け込んでいた

前夜祭プログラム



司会 L.石毛 剛 (地区財務委員長)

17:00 -	受付		
18:00 - 18:45	講演会		
19:00 -	懇親会		
	オープニングセレモニー		
	ガバナー挨拶	ガバナー	L. 笹本 瞭
	名誉顧問会議長挨拶	名誉顧問会議長	L. 浮谷俊行
	副地区ガバナー紹介	ガバナー	L. 笹本 瞭
	副地区ガバナー挨拶	副地区ガバナー	L. 岡野正義
	乾杯	地区名誉顧問会議長	L. 浮谷俊行

(食事・歓談)

アトラクション：ライオン歌劇団 (リーダー：松山いくお)

19:25 - 20:00	1回目ステージ		
20:10 -	土井正三氏サイン抽選会		
20:15 - 20:45	2回目ステージ		
20:50 -	閉会の言葉	年次大会委員長	L. 長谷川一吉

講演会：元巨人軍V9戦士土井正三氏が語る 「わが栄光の読売巨人軍！」

土井正三氏プロフィール

昭17.6.28 生
175cm 78kg 右投、右打

〈略歴〉	兵庫育英高→立大→巨人 (昭40～55、61～63) →オリックス (平3～5) →巨人 (平8～)
〈初出場及び初安打〉	昭40.4.12 対中日 河村 後楽園
〈初本塁打〉	昭41.5.19 対大洋 新治 後楽園
〈受賞歴〉	ベストナイン賞 (昭43、44) ゴールデングラブ賞 (昭53)



年次大会決議事項

1999年4月18日(日)市川市、市川市文化会館において、ライオンズクラブ国際協会333-C地区第45回年次大会が開催され、提出議案の審議が行われました。

代議員総会並びに大会において決議された事項は次の通りであります。

提出議案の資料並びに当日分科会において行われた研究論文テーマは別紙「第45回年次大会議案集」及び「大会記念誌」をご参照下さい。

1999年4月29日

ライオンズクラブ国際協会333-C地区

第45回年次大会大会議長(地区ガバナー) L. 笹本 瞭

(1) 大会提出議案

第1号議案 前年度会計報告(1997.7.1～1998.6.30)承認の件(地区ガバナー提案)
1. 一般会計 2. 年次大会会計 3. 青少年育成資金会計 4. 特別会計
5. 災害緊急援助資金会計 6. 地区ACT資金会計 7. 千葉県青少年育成基金会計

第2号議案 本年度中間会計報告(1998.7.1～1998.12.31)承認の件(地区ガバナー提案)
1. 一般会計 2. 年次大会会計 3. 青少年育成資金会計 4. 特別会計
5. 災害緊急援助資金会計 6. 地区ACT資金会計
7. YE・LEO・青少年合同サマーキャンプ会計 8. 千葉県青少年育成基金会計

[決議] 第1号議案～第2号議案原案通り承認可決

(2) 指名選挙・国際理事立候補者推薦委員会提出議案

第1号議案 次期地区ガバナー選出の件(地区ガバナー提出議案)
次期地区ガバナー候補者は現副地区ガバナー L. 岡野正義(千葉LC) 1名である

第2号議案 次期副地区ガバナー選出の件(地区ガバナー提出議案)
次期副地区ガバナー候補者は、L. 木下 務(船橋LC) 1名である

第3号議案 国際理事立候補者推薦の件(地区ガバナー提出議案)
333複合地区ガバナー協議会の決議を尊重し、1999～2001年度国際理事として、L. 藤井基博(336-C地区・福山東LC所属)、L. 竹内淳一(334-A地区・半田LC所属)を推薦する。

[決議] 第1号議案～第3号議案原案通り承認可決

(3) 決議委員会提出議案 会則・政策・会員・経理分科会

- 第1号議案 複合地区ガバナー協議会議長連絡会議を尊重する。
1. 複合地区会則改正案（地区ガバナー提出議案）
2. 国際理事立候補者推薦手続規則改正案（地区ガバナー提出議案）
- 第2号議案 次期アクティビティスローガンを「友愛と奉仕で作ろう 明日の日本 子らのため」と致したい。（千葉LC提案）
- 第3号議案 地区ガバナー提出議案
4Rの分割について
今般、4R1Z、8クラブ協議の結果、ライオンズクラブの合理化、将来のEXTに備えるため、次の通り分割（再編成）するのが好ましいと判断され下記の案にてご了承願いたい。
- 4R1Z 船橋LC、船橋中央LC、船橋グリーンLC、船橋さざんかLC、船橋シニアLC
4R2Z 船橋東LC、鎌ヶ谷LC、船橋京葉LC、沼南LC、船橋北LC、白井LC
4R3Z 習志野LC、八千代LC、習志野中央LC、八千代東LC

〔決議〕第1号議案～第3号議案 原案通り承認可決

分科会報告

A分科会

<会則・政策・会員・経理>

A分科会委員長 L.寺嶋佳一

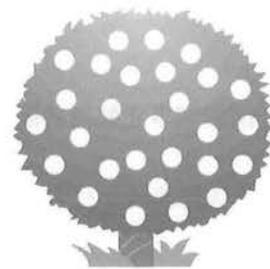
*地区年次大会提出議案

第一号議案	承認
第二号議案	承認
第三号議案	承認

*研究討論

1) 会員増強について

成田エアポート会長 L.加瀬邦康
クラブ入会金不要・他



A分科会

2) 地区アクティビティ

千葉エコーLC L.岡部
千葉県のリジョン・ゾーンに限り行う
青少年アクティビティ資金 必要
カンボジアアクティビティ資金 不要
(イ) キャビネット運営の件
(ロ) アクティビティ運営の件

* 会則変更

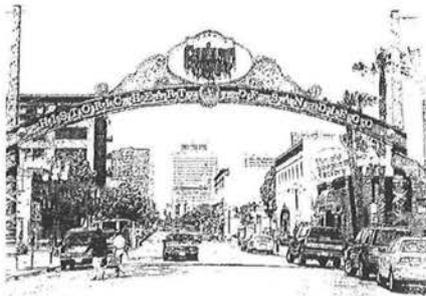
ファイナル — 昨年よりクラブ理事会により
決める (吉田名誉顧問)
第三副会長の件 クラブにより
ゾーン幹事の件 ゾーンにより
理事メンバー等 1年、2年は2年とする

* 特別運営の件、次期キャビネットに伝えるように

B分科会

<PR情報・大会参加・年次大会>

B分科会委員長 L.塚田雅二
司会：L.野村英四郎 (6R1Z ZC)
記録：L.岩永 俊男 (6R2Z ZC)



サンディエゴ市街

1. 開会の言葉
2. 出席者の挨拶
3. 委員会挨拶 (議長)
L.塚田 雅二 (6R RC)
4. 顧問挨拶 L.小泉 昭 (地区名誉顧問)

研究討論テーマ

- イ. 奉仕活動における一般社会のPR効果
L.吉原 稔貴 (地区PR・情報委員長)
- ロ. 1999-2000年 ライオンズ国際大会参加について
L.楠岡 巖 (地区大会参加委員長)



B分科会

5. 議事 (質疑応答) 議長 L.塚田 雅二

千葉エコー クラブ誌の件
費用 (財政面) での見直し

※ 運営費内では無理なために事業費流用しているが
それでよいのか?

：対外面では事業費で可

6. 決議事項 (提出議案) の確認

特になし

C分科会

<長期計画・指導力育成・EXT>

C分科会委員長 L.吉岡 守
司会：L.松川 正

1. 委員長挨拶 L.吉岡 守
2. 顧問挨拶 L.岡野 正義
3. 議事記録作成者指名 L.斎藤太嘉志
議事録署名人 L.松川 正
L.上吉 司郎



C分科会

4. 提出議案審議

(1) エクステンションについて

船橋LC L.木下 務

現在の経済状況からEXTは考えられない。
これからのEXTはシニアクラブの結成か、女性クラブの結成を期待したい。

(2) 地区ガバナー方針運営目標として

柏グリーンLC L.野口 精治

会員増強について

会費の検討、事務局体制の合理化、単年度限りでなく、継続性をもってキャビネットで対処して欲しい。

D分科会

<青少年・国際協調・YE>

D分科会委員長 L.斉藤 一夫

1. 研究討論テーマ

(1) 21世紀に向かって青少年の健全育成

船橋LC L.望月 武峰

(2) YE

佐倉中央LC L.秋葉 琢磨

君津LC L.正木 守

四街道LC L.林 和意



2. 要望事項

(1) YEの予算化について

(2) 出身クラブの受入クラブの労力と金銭ACTを認めて下さい。

(3) 現在までの記録誌を作成するための予算化をして下さい。

(4) 時期YE委員会を早期に実施して下さい。
(9月頃までに)



D分科会

E分科会

<環境保全・ACT・LCIF・災害対策>

E分科会委員長 L.中川都弘

10:35 (定刻) 開会

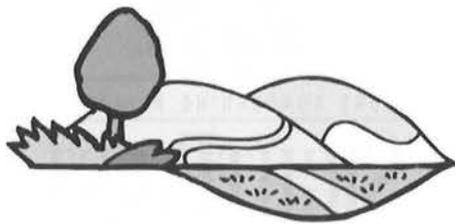
1. 開会の言葉 L.小高 昭一

2. 出席者の紹介

3. 委員長挨拶 L.中川 都弘

4. 議事 議長 L.中川 都弘

イ. 議事録作成者の指名 L.小林利弘 全員承認
ロ. 提出議案 なし



5. 事例発表

(1) ビオトープ・トンボ池

千葉LC L.河内 邦彦

【質疑応答】

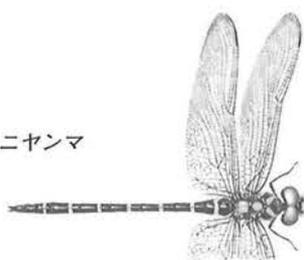
(Q) L.中川：トンボが卵を生むために水の流れが必要なわけは

(A) L.河内：専門家の話の中では、流れが必要であり、捕ってきたトンボを放すのではなく飛来するのを待つことである。

(Q) 館山中央 L.石井：トンボ池の長いスパンでの運営は？また規模費用は

(A) L.河内：管理（清掃）の中で結果を聞き、毎年専門家の話を聞く会を開催。規模は30～35m位。費用は千葉市公園課の事業で、LCは池を掘るために出費はしていない。

オニヤンマ



(Q) 館山中央 L.山内：トンボに限定したわけは

(A) L.河内：トンボが補食するためには背景に雑木林が必要であった。その点公園は最適であった。

(Q) 松戸中央 L.若林：自分の付近ではトンボが見られないが、飛来してくるか

(A) L.河内：トンボは1～3kmの範囲で飛び回る、または台風などの風に乗せられてくる。

(2) 白子町の地に源氏蛭を飛ばそう

白子LC L.兼平 隆

【質疑応答】

(Q) 千葉LC L.白石：源氏蛭と平家蛭の違いは

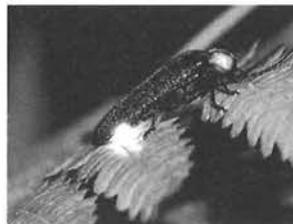
(A) L.兼平：源氏の方が大きい。1mm～2mmくらいメスの方が大きい。予算は20万/年

(Q) 四街道LC L.鈴木：蛭が飛び交う時期は

(A) L.兼平：2週間くらい、5月末から6月始

(Q) 松戸東LC L.真嶋：カワニナの飼育をうまくするには

(A) L.兼平：きれいな水が必要だが、鳥に対する保護も必要。エサはニンジン、キャベツが適当である。



源氏蛭

(Q) 館山 L.石井：オリジナルのACTをしたいときその財源もない場合、中央から求められている費用をカットして良いか

(A) L.中川：地域社会に奉仕するのが第一である。クラブの自主性を重ずる姿勢が重要である。

以上

決議事項：なし



E分科会

F分科会

<薬物乱用防止・献血推進・献眼・視聴力保護・言語障害・盲人福祉・糖尿病教育・アイヘルス>

F分科会委員長 L.山本 繁樹



1. 青少年育成、薬物乱用防止、献血推進キャンペーンにつき地区薬物乱用防止、献血推進委員長より報告と提案があり、提案について分科会で討議し承認を得た。

ア. 報告

ライオンズデーに於ける333-C地区青少年育成薬物乱用防止・献血推進統一キャンペーンの評価と反省点について。

今後も統一キャンペーン継続の必要性を検討する必要がある。

- ・薬物乱用防止研究会、献血推進研究会実施報告とその問題点
- ・献血推進、薬物乱用防止活動に於ける青少年育成として学生ボランティアの増員を呼びかけ、参加の枠を拡大すること。参加者に対しての対応について検討すべき諸点について。

イ. 提案

- 前任者から申し送り事項として、日赤に献血検査車と設備器具を寄贈できる様に後任者に申し送りたい。
- 学校にリーフレットを配布(約1万枚)する件。
- 学生ボランティアには参加証明書または感謝状を用意し、参加学生の就職活動に有用性を与える件



F分科会

2. 献眼、視聴力保護、言語障害、盲人福祉、糖尿病教育、アイヘルス委員長、L.椎名益男より視力ファースト(盲導犬育成を含み)について説明があり〔詳しくは年次大会記念誌及び議案集に収録されているので参照〕

アイヘルス(目の健康)活動として展開されたい旨の報告及び、網膜色素変性症に関する解説がなされた。その他の報告は次の通りなされ、提案は承認を得た。

ア. 報告

日本網膜色素変性症協会とライオンズクラブとの関わりについて講演をされた。

小説「蔵」のヒロイン、烈がこの難病であること、小野塚さんがこの難病と苦闘しながら、女優沢口靖子さんに会い、体験を通してこの難病の理解と協力活動の必要性、献眼の際の網膜活用への医療の展開を話された。

船橋東LC、L.及川雅賀から「千葉県アイバンク協会で第1番目に献眼をされた方のご家族としての気持ち」について話していただいた。

- ・千葉ゆうきのLC、L.橋本文子から「手話について」話していただいたが時間の制約もあり、今後の展開に期待することにした。

イ. 提案

- 網膜色素変性症に関する網膜活用への提唱(厚生省に)及びJRPSへの援助活動の必要性を検討すること。
- この長い活動委員会をアイヘルス活動として発展させること。
- 献眼登録証には家族の同意欄をもうけ迅速な対応が図れる形態のものを作成し、PR活動を行うこと。

G分科会

<ライオネスフォーラム (第21回) >

G分科会委員長 L.鈴木 実

司会進行 L.高橋 輝男 (5 RPR情報委員・
アイヘルス委員)

記録係 L.根岸 直巳 (地区ニュース編集委員)



第21回ライオネスフォーラム次第

9:50 参加者入場
10:00 開会宣言
開会ゴング
国歌並びにライオネスの歌斉唱
来賓紹介
参加クラブ紹介
挨拶

地区ガバナー L.笹本 瞭
地区名誉顧問 L.杉浦 明
地区LS委員会 L.鈴木 実
地区LS委員会補佐 L.S.小菅あけみ

10:20 講師紹介講演

「講演」

1) 演題「ライオンズ活動を経験して得た人生」
袖ヶ浦LC L.小泉 義弥 (袖ヶ浦市長)

2) 演題「アイバンクコーディネーターの役割」
許斐 健二 (このみけんじ)
(医師東京歯科大学 市川総合病院
角膜センター副センター長)

12:00 閉会宣言
閉会ゴング

12:05 年次大会会場へ移動 (昼食)



講演

ライオンズ活動を経験して得た人生



講師

小泉 義弥 (袖ヶ浦市長)

講師経歴

袖ヶ浦市議会議員、袖ヶ浦市助役、現袖ヶ浦市長

講演

アイバンクコーディネーターの役割



講師

許斐 健二 (医師東京歯科大学 市川総合病院
角膜センター副センター長)

慶應義塾大学医学部卒、学生時代に角膜移植を受ける。現在、東京歯科大学市川総合病院角膜センター・アイバンク及び眼科に勤務し、コーディネーター、眼科研修中である。

また、当院で発足した、角膜移植患者の会の会長を務めている

333-C

レオ地区・レオクラブ大会

大会委員長 L.岡田 真光
司会進行 L.石井 恵雄 (地区レオ副委員長)
記録係 L.有岩 茂 (地区LEO委員)
L.高山 照裏 (地区LEO委員)

レオ地区会議 (代議員会計)

提出議案

承認を求める件 本年度中間会計報告

前回3月13日(上)のレオ地区会議において承認された事項について確認を求めます。

承認を求める件 1、次期レオ地区三役
承認を求める件 2、次期レオ地区副会長
承認を求める件 3、6月6日(日)銚子市においてレオクラブフェイナル例会を行なう

主催：レオ地区 設営：銚子中央レオクラブ

レオクラブ大会

司会 銚子中央レオクラブ会長 Leo.大川 武輝

1) レオクラブ大会記念講演

a. 演題「生きること」の二つの意味

千葉県立佐原高等学校 3学年 保坂 有紗
333-C地区第18回千葉県高等学校弁論大会
最優秀賞

b. 演題「大地の子ー私の場合」

千葉県立千葉女子高等学校 3学年 叶 寒菜
333-C地区第18回千葉県高等学校弁論大会
優秀賞

c. 演題「日本の子供達」

プラブ・カヤスト (ネパール) 国際フォーラム 1位

d. 演題「近くて遠い国」

チェ・ヨンラン (韓国) 国際フォーラム 2位

e. 演題「皆さん・ナマステ」

ボビン・マン・パジュラチャルヤ (ネパール)
国際フォーラム 3位

2) 各レオクラブ紹介

レオ地区幹事 Leo.岡田 友宏

3) 開会宣言・ゴング

レオ地区会長 Leo.岡田 早代

4) 国歌斉唱

5) レオクラブの歌斉唱

6) 来賓・地区役員紹介

レオ地区幹事 Leo.岡田 友宏

7) レオ地区会長挨拶

Leo.岡田 早代



ライオンズクラブ国際協会
333-C・LEO地区

第3回 レオクラブ大会 (通算 第21回 レオフォーラム)



1999年4月18日
市川市文化会館

333-C地区レオクラブ大会記念誌

8) レオ地区幹事報告

Leo.岡田 友宏

9) レオ地区会計報告

10) 333-C地区LEO委員長挨拶

L.岡田 真光

11) 来賓祝辞

333-C地区地区ガバナー L.笹本 瞭

12) レオアワード贈呈

13) レオ地区会長エレクト紹介

次期会長予定者

千葉中央レオクラブ Leo.安見 一美



12:20～13:20

盲導犬育成のための募金活動



レオ地区副会長の安見一美レオから笹本ガバナーに
盲導犬育成募金を贈呈

1998～1999年度各種アワード



1、地区大会アワード

(1) 優秀クラブ賞

賞名	クラブ名
最優秀賞（金賞）	流山LC・柏オークLC・佐原LC・富津LC
最優秀賞（銀賞）	市川東LC・市川北LC・松戸中央LC・柏中央LC・船橋中央LC 鎌ヶ谷LC・習志野LC・千葉LC・千葉中央LC・四街道LC 佐倉中央LC・多古LC・木更津金鈴LC・館山LC・夷隅LC 茂原中央LC・九十九里LC
優秀賞	市川LC・浦安LC・行徳LC・松戸南LC・松戸東LC・野田LC 我孫子LC・柏さくらLC・柏グリーンLC・船橋ポートLC 船橋東LC・船橋北LC・八千代LC・千葉幕張メッセLC 千葉ゆうきのLC・市原中央LC・成田LC・佐倉LC・八街LC 東庄LC・銚子中央LC・光LC・飯岡LC・木更津中央LC・君津LC 館山南LC・房州勝浦LC・茂原長生LC・白子LC・成東LC

(2) 若獅子賞

船橋さざんかLC・市原コスモスLC・成田エアポートLC・銚子ウェストポートLC
千葉ネオLC

2、地区ガバナーズアワード

賞名	クラブ名
LCIF・地区ACT 資金優秀賞	市川東LC・市川北LC・松戸LC・松戸中央LC・松戸ユーカリLC 流山LC・松戸東LC・野田LC・柏さくらLC・柏中央LC 柏グリーンLC・柏オークLC・船橋さざんかLC・船橋東LC 船橋京葉LC・船橋北LC・習志野中央LC・佐倉中央LC・佐原LC 光LC・銚子ウェストポートLC・袖ヶ浦LC・富津LC・上総LC 君津LC
青少年育成基金 ACT優秀賞	船橋中央LC・船橋さざんかLC・銚子LC・柏なの花LC・東庄LC 銚子ウェストポートLC・茂原たちばなLC
障害者対象ACT 優秀賞	市川LC・浦安中央LC・流山LC・野田LC・柏LC・柏なの花LC 船橋中央LC・習志野LC・千葉中央LC・千葉幕張メッセLC 四街道LC・八街グリーンLC・栗源LC・山田町LC・木更津金鈴LC 君津LC・館山北LC・房州白浜LC・茂原中央LC・東金LC



賞 名	ク ラ ブ 名
ACT優秀賞 献眼・献血・骨髄バンク・薬害乱用防止・糖尿病教育・環境	浦安シーサイドLC・船橋グリーンLC・船橋京葉LC・船橋北LC 市原東LC・成田グリーンLC・佐原LC・大栄LC・富津LC 房州朝夷LC・上総一宮LC・長南LC・下総中山LC・市川北LC 浦安LC・松戸LC・松戸グリーンLC・関宿LC・印西LC・柏中央LC 柏オークLC・柏なの花LC・沼南LC・白井LC・船橋さざんかLC 千葉京葉LC・千葉若潮LC・市原LC・栄町LC・酒々井LC 成田平成LC・銚子LC・神崎LC・旭LC・袖ヶ浦LC・木更津中央LC 君津中央LC・館山中央LC・鴨川LC・茂原LC・房総勝浦LC 長柄LC・茂原たちばなLC・茂原長生LC
PR・情報優秀賞	市川LC・下総中山LC・流山LC・柏LC・船橋LC・鎌ヶ谷LC 八千代LC・千葉グリーンLC・千葉エコーLC・千葉ゆうきのLC 下総LC・東庄LC・銚子中央LC・飯岡LC・干潟LC・上総LC 君津LC・鴨川LC・大網白里LC・成東LC

3、地区ガバナー特別賞

賞 名	ク ラ ブ 名
地区運営方針に 添い特に成果を あげたクラブ	市川LC・行徳LC・松戸南LC・関宿LC・柏中央LC・船橋LC 柏グリーンLC・船橋シニアLC、八千代東LC・成田LC・富里LC 千葉幕張メッセLC・千葉若潮LC・佐倉LC・総武中央LC・海上LC 八日市場LC・木更津中央LC・君津中央LC・鋸南LC・房州朝夷LC 茂原長生LC・東金L
LS・研修行事等 に特に成果をあ げたクラブ	流山LC・柏LC・船橋中央LC・市原南LC・佐原LC・富津LC 総武中央LC・袖ヶ浦LC・木更津金鈴LC・君津LC・君津中央LC
LE0・研修行事 等に特に成果を あげたクラブ	松戸南LC・印西LC・柏グリーンLC・船橋中央LC・八千代東LC 千葉中央LC・銚子中央LC・富津LC・君津LC
YE・研修行事等 に特に成果をあ げたクラブ	松戸中央LC・松戸南LC・流山LC・松戸東LC・野田LC・柏中央LC 柏グリーンLC・柏なの花LC・船橋ポートLC・習志野中央LC 酒々井LC・富里LC・佐倉中央LC・栗源LC・夷隅LC・茂原中央LC 大網白里LC



4、地区ガバナー大賞

ク ラ ブ 名
下総中山LC・松戸ユーカリLC・印西LC・習志野中央LC・千葉ポートLC 成田エアポートLC・銚子LC・上総LC・大網白里LC・鴨川LC

賞 名	ク ラ ブ 名
ライオネス優秀賞	柏ライオネスクラブ
ライオネス優秀賞	流山ライオネスクラブ
レオ最優秀賞	銚子中央レオクラブ
レオ優秀賞	松戸南レオクラブ

5、ガバナー特別賞

賞 名	ク ラ ブ 名
会員増強特別賞	成田エアポートLC・夷隅LC
ライオネス特別賞	船橋中央LC・市原南LC・佐原LC・総武中央LC・袖ヶ浦LC 木更津金鈴LC・富津LC・君津LC・君津中央LC
レオ特別賞	印西レオクラブ・柏グリーンレオクラブ・船橋中央レオクラブ 八千代東レオクラブ・千葉中央レオクラブ・富津レオクラブ 君津レオクラブ
努 力 賞	木更津LC

6、ガバナー特別賞（個人）

賞 名	ク ラ ブ 名
会員増強特別賞	銚子ライオンズクラブ 会長 L.宮川 カー
高齢者特別出席	L.織戸 光男（92才）船橋中央LC所属 L.上田 鉄雄（89才）東金LC所属 L.小笠原貞夫（89才）船橋シニアLC所属 L.廣田 龍男（89才）佐倉LC所属



クラブ活動のページ

クラブ活動のページの投稿数の多い少ないは各リジョンのPR情報委員の活動量によって決まる。リジョンごとにクラブ数の差もある。だから地区ニュースにあまり記事が紹介されていないなくても、決してそのリジョンの活動が少ないわけではない。

その意味で今年のPR情報委員の中で最も記事を寄せてくださったのは、7リジョンの高橋脩L(佐原LC)で投稿数は断トツの22記事。おそらく歴代でもトップクラスだと思う。その意味で高橋脩Lには「最優秀PR情報委員賞」をさしあげたいくらいだ。

いくつかのクラブからPR情報委員が取材にこないから自分たちのことが地区ニュースに載らないと不満を言われているのを耳にしたが、本当にそうだろうか？

これまで各クラブの行事にPR情報委員が行って取材したこともあるが、PR情報委員は決して仕事でやってる新聞記者ではないので、やはり各クラブのPR情報・広報委員会が自分の仕事として自分たちの活動や事業を記事にまとめ、地区PR情報委員長へ送るようにはしていただきたい。そうしないと地区ニュースに掲載される可能性は少ない。

実際116ものクラブがあるとクラブ名だってお互いに知らないことが多い。

ぜひともより積極的に協力・参加していただきたい。そうすることがクラブの知名度を上げ、活性化につながるに違いない。

5 R

千葉ゆうきのLC

会長 L.波木 泰美

第3回千葉ゆうきのライオンズクラブチャリティーディナーショー

当クラブの年間行事の中で最大のイベントであるチャリティーディナーショーが1999年2月14日(日)に600人余りの人達の協力のもとに開催されました。チャリティーの収益金は下記の如く7団体に寄贈致しました。

1. 千葉県地域ぐるみ福祉振興基金
2. 千葉市社会福祉基金
3. 千葉市手をつなぐ育成会
4. 千葉県アイバンク協会
5. 日本赤十字社千葉県支部
6. 社会福祉法人清輝会アガペの里
(千葉日報社を通して)
7. 千葉県立千葉聾学校
(千葉日報社を通して)



千葉ゆうきのLC チャリティーディナーショーの様相

私達の微力な手助けが各団体において少しでもお役に立てただけならばと心より祈っています。

今回このディナーショーに出演していただいた『和田弘とマヒナスターズ』の魅惑の歌声は会場の皆様方を昭和50年代にタイムスリップさせ、若かりし頃の思い出を蘇らせて下さいました。折しもこの日は聖バレンタインデー、女性の私達はチョコレートプレゼントを参加者全員に会長、実行委員長がご挨拶と共に手渡しました。

アトラクション、食事、プレゼントと盛り沢山で皆さま大変満足されたようです。最後に会場全員が

大きな大きな輪を作り恒例の「また会う日まで」を大合唱し散会となりました。

実行委員長 関根 政子



千葉ゆうぎのLCチャリティーディナーショーの風景

市原市内6団体共同ACT

※市原市内のライオンズクラブの献血活動が「京葉新聞」の取材を受け記事として掲載されました。以下に転載します。

企業・高校へ献血啓発
LC市原市献血推進友の会

市原市内ライオンズクラブ六団体（庄司辰二郎・ゾーン・チェアマン、ライオネスクラブ含む）で結成している「市原市献血推進友の会」（両川邦夫会長代理）は、同市内の各企業や公・私立高校などに献血協力を求めるため、9月30日同市金町の山九（株）千葉支店（馬渡英機支店長）など各事務所や、同市内公・私立高校九校に校長を訪ね、献血に対する生徒達の協力が得られるよう啓発活動を行った。

各校長らはそれぞれ協力を約束してくれたが、この中である校長は献血を直接受ける日本赤十字社の血液センターの対応に触れ、



市原LC
10月8日 7:00～8:30 於JR五井駅西口広場

「かつて高校は全体の70%の生徒達が献血に協力した時代があった。今低調なのは「善意を受ける」という体質とは逆の日本赤十字社の官僚的体質に近い対応ぶりを批判して、徐々に協力体制が崩れてきた」とその事情を指摘しながらも「皆さんの熱心なボランティア活動に何らかのご協力で答えたい」とそれぞれ協力姿勢を明らかにした。



市原中央LC
10月8日 15:00～16:30 於JR姉崎駅東口及び西口



市原東LC
10月8日 7:00～8:30 於JR五井駅東口

7R

多古LC

会長 L.平山一男

30周年記念

多古ライオンズクラブ旗争奪近隣中学校駅伝大会

1999年1月31日(日)多古ライオンズクラブ主催により、30周年記念、近隣中学校駅伝大会開催、県立多古高等学校校庭に於いて開会式。

AM11:00スタート。コースは多古高等学校一栗源町役場折り返し7区間 22.2km

参加校は香取・海匠・山武・印旛郡内 28中学校、参加選手280名

7R内、全市町中学校参加。



小見川中学に平山Lより手渡される優勝旗



スタート地点を一斉に飛び出す駅伝ランナーたち

この大会は中学1・2年生だけで編成され、華の1区は女子選手を起用して盛大に開催された。

PM1:00開会式、優勝した小見川中学校に多古ライオンズクラブ会長 L.平山一男より優勝旗授与。

成績は次の通り

優勝	小見川中	タイム	1時間11分17秒
準優勝	多古中	タイム	1時間14分23秒
三位	佐原中	タイム	1時間14分52秒
四位	海上中	タイム	1時間15分26秒
五位	佐倉中	タイム	1時間15分44秒
六位	旭一中	タイム	1時間16分42秒

社会福祉委員会

寝たきり老人介護用ベッド寄贈

1999年1月25日(月)多古町保健福祉センター内、多古町社会福祉協議会、会議室に於いて平山会長、富澤幹事、平山式典委員長、鈴木記念事業委員長4名にて、土井町長、岡村協議会事務局長出席のもと30周年記念事業として寝たきり老人介護用として介護用ベッド10台贈呈。

青少年育成・保健委員会

「ダメ・ゼッタイ」薬物乱用防止ビデオ贈る

1999年2月2日(火)平山会長、富澤幹事、平山保健委員長3名にて多古町役場、教育委員会に教育



寄贈された介護用ベッドと平山会長をはじめとするライオンたち

長を訪問、薬物乱用防止「ダメ・ゼッタイ」ビデオを贈呈、また県立多古高等学校にも「ダメ・ゼッタイ」のビデオを贈呈。

袖ヶ浦LC

会長 L. 在原 喜伸

そでがうら桜祭り

第4回桜見まつりが平成11年4月4日に袖ヶ浦市民会館前のライオンズの森にて行われました。

袖ヶ浦ライオンズクラブ20周年記念事業のアクティビティで植樹された幼木が13年を経過して美しい花を咲かせるようになりました。



晴天の中賑わうそでがうら桜祭り

今年は天候不順の日が多く当日の天気は危ぶまれましたがお花見には最高の良い日になりました。その中でマグロを解体しての食べ放題や、餅つき、また桜見まつりのPRチラシのピカチュウぬり絵による



袖ヶ浦LC主催少年サッカー大会：表彰式

るピカチュウシールの配布、他にもダルマ落としゲームやストライクボードなどTVでお馴染みのゲームを実施して、見事な桜の木の下にて市民を交えて盛大に行われました。

更に大勢のブラザークラブのメンバー、特にこの度は笹本ガバナーも駆けつけて来て頂きました。

同時にその日は少年サッカー大会も袖ヶ浦ライオンズクラブの主催にて行われ数多くの熱戦が繰り広げられました。

毎年、桜の咲く時期がやって来ると大勢の皆さんが楽しみに待っていてくれるような桜見祭りになっていくことでしょう。

我がクラブは今後もこのようなACTを継続していく方針です。(8R1Z 佐藤重兼)

一年間皆さまの多数のご投稿

ありがとうございました。

(地区PR情報委員会)





子どもの人権を考えるページ

世界人権宣言50周年記念

中学生によるシンポジウムとオーケストラの集い

テーマ：子供の人権を守ろう 一育てよう 思いやりの心一

開催日時：1998年10月18日

開催場所：県立千葉女子高等学校

協賛 松戸中央ライオンズクラブ

地区ニュース掲載が開催時期から大幅にズレてしまったが昨年10月世界人権宣言50周年を記念した中学生によるシンポジウムとオーケストラの集いが開催された。

シンポジウムでは千葉大学教育学部教授の明石要一氏をコーディネーター、千葉市内の小中台、轟、稲毛の各中学校から男女2名がシンポジストに招き「いじめ・体罰」や「不登校」、「親の子ども虐待」などを例に子どもの人権についての考え方や体験を発表してもらった。

第2部では県立千葉女子高等学校のオーケストラ部の演奏でミニコンサートが開かれた。松戸中央LCでは国際協調委員長の和田康男Lを中心に本イベントに対し30万円の協賛金を送り、広くPR活動を繰り広げられた。

一方、1Rリジョン・チェアマンの山本繁樹Lは「千葉県子どもの人権専門委員長」として念頭の言葉にもいじめ・体罰・虐待・自殺防止等の啓発・紛争解決にあたられている。青少年健全育成に注力しているLCとしても「子どもの人権」という考え方を知って活動の基礎にすえる必要があるように感じる。

そこで今回は子どもの人権に関するリーフレット等を紹介し、みなさんと一緒にこのテーマについて考えてみたい。

世界人権宣言50周年記念

中学生によるシンポジウムとオーケストラの集い

と き 平成10年10月18日(日)
ところ 県立千葉女子高等学校(文化ホール)

考えよう あなたの人権 わたしの人権

人権、それは世界の共通語

主催 千葉県地方方法務局
千葉県人権擁護委員連合会
千葉県子どもの人権専門委員会
共催 千葉県教育委員会
千葉県教育委員会
千葉県PTA連絡協議会
千葉県PTA連絡協議会
後援 千葉県日報社・千葉テレビ
千葉県子供会育成連絡協議会
千葉県市民生委員児童委員協議会
千葉県母子福祉推進員連絡協議会
千葉県青少年相談員連絡協議会
松戸中央ライオンズクラブ



子どもの人権専門委員

子ども人権オンブズマン

ちっちゃいけど子どもだって
一人前の人間なんだ。
のびのび元気に生活する
権利があるんだ。



Youni Tani

法務省・全国人権擁護委員連合会

最近わが国では神戸市須磨区の「少年A」による猟奇殺人に代表されるように一般人の感覚では理解しにくい「加害者の人権が擁護されて被害者の人権やプライバシーが暴かれるのはいかがか論争」がありました。

世界で最も社会主義国的社会構造をもつ豊かな国日本では人権と聞くと「自分の権利の話し」のように聞こえてしまうので聞いてもピンとこないかもしれませんが、実は半世紀も前まではとても切実で重要な問題でしたし、半世紀を経た現在でも大人たちの離婚率が高まり子どもが親のエゴで綱引きされたり、暴力や虐待で殺されてしまうケースが多く昔とは違った土俵での人権問題が発生しています。

体罰は我々の世代からみれば「何を生ぬるい」と思ってしまいましたが、今の子どもたちにとっては「大問題」なのです。ただただ「勉強、勉強」という母親や家庭に無関心の父親も実は大変な加害者で、神戸の少年Aや非行少年、暴走族、コギャル・マゴギャル、援助交際などの社会問題の原因の一つと言えるのではないのでしょうか？

ライオンズクラブでこのような問題に取り組むことは困難かもしれませんが、このような問題に取り組む活動の「たにまち」的存在として協力することはできます。

みなさんもぜひとも考えてみてください。

知っていますか？

児童の権利に関する条約

●条約の主な内容

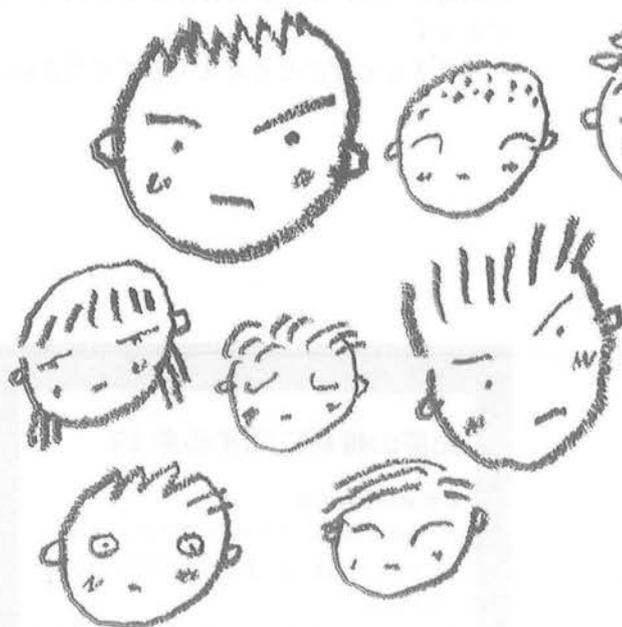
- 1 18歳未満のすべての子どもを対象とします。
- 2 子どもが人種、性、出身などで差別されてはいけません。
- 3 子どもの成長のために何が最も大切かを考慮しましょう。
- 4 両親は子どもを守り、指導する責任があります。
- 5 両親の意思に反して子どもを両親から引き離してはいけません。
- 6 子どもが、自分のことについて自由に意見を述べ、自分を自由に表現し、自由に集いを持つことが認められるべきです。しかし、そのためには、子どもも、ほかのみんなのことをよく考え、道徳を守っていくことが必要です。
- 7 子どもは暴力や虐待（むごい扱い）といった、不当な扱いから守られるべきです。



平成9年度 啓発活動車点目標ポスター

1989年(平成元年)の国連連合の総会で、児童の権利に関する条約が採択されました。条約は「児童(18歳未満)の権利の約束です。子ども一人一人としての権利や自由を尊重し、子どもに対する保護と援助を促進する」ことをめざしています。

みんなだれだって生まれてからずっと平等なんだ。
「いじめ」や「差別」があっちゃいけないんだ。



「いじめ」や「差別」についてどう思いますか？

「いじめって何」、「差別って何」。
友だちどうしや家の人と話し合ったり、自分でも考
えてみることも大切です。

「いじめ」を見かけたらどうしますか？

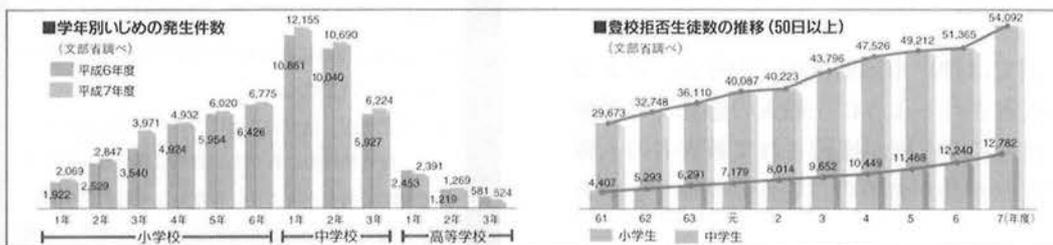
私たちはみんな平等です。同じ子どもとおし「いじ
め」を見たら勇気を出して注意したり、親しい人に
話してみてください。

「いじめ」は悪いことです。

いじめられたらきっと辛くて悲しい気持ちになるはず
です。相手の気持ちになって考えてみましょう。

キミ自身の悩みや疑問があったら話を聞かせてください。

●悩みごとは「子どもの人権専門委員」に相談してみよう。どんな小さな事でも一人で悩まないで話を聞かせて下さい。



●「子どもの人権専門委員」は20歳未満のすべての皆さんを対象に活動しています。中・高校生の皆さんの意見・悩みも含め広く相談を受けつけています。

人権擁護委員を知っていますか？

「いじめ」にあったときは
電話してください。

子どもいじめ110番
千葉県地方務局
043-247-9666

いじめ、体罰、部落差別、
近隣関係など、人権問題で
お困りの方は、お近くの
人権擁護委員へご相談ください

毎日の生活の中でふくらんでいく
小さな悩みひとりでかかえていないで
私達に相談してください

千葉県地方務局
043-247-9444

法務省
全国人権擁護委員連合会

「いじめ」にあったときは
電話してください

子どもいじめ110番
千葉県地方務局
043-247-9666

お近くの人権擁護委員の
電話番号等については、
シールに記載の
法務局・地方務局に
お気軽にお尋ねください

毎日の生活の中でふくらんでいく
小さな悩みひとりでかかえていないで
私達に相談してください

千葉県地方務局
043-247-9444



昭和7年発行「市川郷土読本」
所収の「手児奈の図」

年次大会開催地 市川市の名所紹介

年次大会記念誌表紙 「真間の手児奈霊堂」の由来

※大会記念誌より転載

市川市の真間は万葉の時代から歴史の中に息づいている土地です。

昔々、海の入江であった真間の地に、絶世の美女「手児奈（てこな）」が住んでいました。あまりに美しいその姿に多くの男たちが言い寄り求婚し、手児奈のまわりには争いが絶えなかったそうです。身のおきどころに窮した手児奈は「これ以上、人の心を騒がせ、惑わせてはいけない」と真間の入り江に身を投げて自ら命を絶ったのでした。

東国葛飾の地に伝わる手児奈の伝説は万葉の時代になって、高橋虫麻呂・山上憶良・山部赤人などの歌人によって都人に伝えられたのです。

勝鹿の真間の井見れば立ち平らし
水汲ましけむ手児奈し思ほゆ
(万葉集巻九、高橋虫麻呂)

われも見つ人にも告げむ葛飾の
真間の手児奈が奥つ城処
(万葉集巻三、山部赤人)

葛飾の真間の入り江にうちなびく
玉藻刈りけむ手児奈し思ほゆ
(万葉集巻三、山部赤人)

それから数世紀を経た文亀元年（1501年）、真間山弘奉寺（ぐほうじ）の日与上人は霊夢を感じ、手児奈を安産、子育ての神として祀り鎮めるため霊堂を建立しました。

手児奈が水を汲んだといわれ歌に詠まれた井戸「真間の井」や、市川北部大地から入り江の砂州に架けられた小さな橋を渡って手児奈にそっと逢いにいきたい男たちの切ない気持ちが伝わる「足の音せず行かむ駒も葛飾の真間の継橋やまず通わん」に詠まれた真間の継橋などが手児奈伝説に彩りを添えています。

2001年9月は手児奈霊堂建立500年祭が予定さ

れています。

※高橋虫麻呂
奈良時代の歌人、伝説に題材を求めた長歌では「万葉集」中第一の名手。719－723年頃まで藤原宇合（ふじわらのうまかい）の配下として常陸の国に赴任し「常陸国風土記」の撰進に関係したらしい。

※山部赤人
奈良中期の歌人。万葉歌人中、柿本人麻呂と並び称される代表的歌人で、三十六歌仙の一人。宮廷歌人として聖武天皇に従駕したときの作が多く、清澄な叙景歌にすぐれ、特に短歌に秀作が多い。

年次大会式典オープニング

手児奈（てこな）太鼓

手児奈伝説に因んで全国にも珍しい女性のみによる和太鼓演奏です。

第45回年次大会の大会式典オープニングに出演し、会場のざわつきを吹き飛ばしました。



編集後記

地区ニュース3号をお届けします。今年の地区PR情報委員会では本当に忙しく、しかし楽しく活動をさせていただきました。

LC自体が80年前には時代を先取りした画期的な組織であったのに、大きくなるにつれて歴史だ伝統だと自分たちで自分たちの成長を止めてきたように思われます。時代を先取りしたり、時代のニーズに合わせて柔軟に変化していくことこそがLCの伝統であったのにいつの間にか「前年同様、従来通り」になってしまったのです。

その点で笹本ガバナーの一年は最高でした。先月参加した複合地区年次大会でもC地区の人材や運営ばかりがキラキラと輝いて見えるほど多くの改革が実現されたと思います。改革することがC地区の伝統となってほしいと願ってやみません。

個人的には10月8日に地区ニュース編集委員で一緒に根岸Lと1RのPR情報委員の千木Lと3人でリジョン内8クラブを朝6時から夜9時までかけて回って取材し制作した「記録ビデオ」が一番の思い出です。このビデオがご縁で7月から市川LCで根岸会長の幹事を務めることになりました。地域社会のリーダーたちの組織としてのLCの発展のため、今年一年の地区委員会活動をバネにいろいろなことに挑戦していきたいと考えています。

今年度一年間、地区ニュースの発行に際して市川LC記録保存委員長の渡辺誠之Lと永藤一行L、そして統一テーマ活動では地区薬害防止委員長の畝本昌介L、取材協力で地区大会参加委員長の楠岡巖Lの各Lには特にお世話になりました。この場をお借りして感謝申し上げます。

(地区ニュース編集員 L.長谷川肇)

終任のご挨拶

早いもので笹本キャビネットの1年が過ぎ去ろうとしています。笹本瞭ガバナーのもと今年度地区PR情報委員会は手前味噌ながら思い出すのが大変なほど多くの新しいものづくりに取り組みました。

その趣旨や意図を十分にお伝えできたかどうかはみなさまのご判断にお任せしますが、幸い優秀でやる気満々の地区委員会メンバーに恵まれ、市川LCのPR情報委員会のみなさんをはじめ地区内多くのクラブから絶大なご協力ご声援をいただき、「改革の人」笹本ガバナーの脇を固める役割は果たせたと自負しています。

来期は私のもとで副委員長を務めてくれた吉原Lが本委員会の委員長の予定です。沈滞気味といわれて久しいLCですが、来期どんな新しい風が吹くか今から楽しみです。地区PR情報委員会へみなさまの変わらぬご理解ご協力をお願いし、終任のご挨拶といたします。

(地区PR情報委員長 L.関口 博之)



目次

ガバナーからのメッセージ

地区ガバナー L. 笹本 瞭 1

市川内局 8 人衆!

チームワークで笹本ガバナーをアシスト 3

ご挨拶 地区幹事 L. 田邊誠二
地区会計 L. 米本隆二

巻頭特集

「第45回年次大会」 6

参加者の皆さまの御言葉
年次大会プログラム
レオの盲導犬募金
オリエンテーション・入会式
オリエンテーションの内容
年次大会前夜祭
前夜祭プログラム
年次大会決議事項
分科会報告 (A~G・レオクラブ)
1998~1999年度各種アワード

クラブ活動のページ (1R~10R) 32

子どもの人権を考えるページ 36

年次大会開催地、市川市の名所案内

年次大会記念誌表紙「真間の手児奈霊堂」の由来 39

編集後記/目次 40

ライオンズクラブ国際協会

333-C地区ニュース Vol. 3

発行日 1999年6月25日

発行者 ライオンズクラブ国際協会 333-C地区

地区ガバナー L. 笹本 瞭

〒260-0025 千葉市中央区問屋町1番55号

TEL 043-243-2528 FAX 043-247-4756

編集者 ◎L関口博之 ○L吉原稔貴 ○L長谷川肇

○L根岸直巳 ○L千本秀芳

印刷所 文陽堂印刷紙工株式会社 tel. 047-325-1611

(レイアウト 倉本忠幸)